

# あなたと学ぶ認知症

## —若年性認知症支援体制とまちづくり—

熊本県では「熊本モデル」として、認知症対策を総合的に推進しております。特に平成22年度は、殆ど手つかずの状況であった若年性認知症の方々の支援体制づくりを始めております。

若年性認知症に対する支援策については、医療、雇用、障がい福祉サービス、介護保険サービスの4つに大別できます。これまでの調査研究から早期発見に向けた雇用環境づくり、雇用と医療が連動した早期対応、そして、今後の暮らしの設計に関わる障がい福祉サービス及び介護保険サービス利用の必要性が指摘されています。

また、若年性認知症の方の暮らしが就労中心から生活中心へのゆるやかな移行に際して、地域内で出かけていく場、活動する場の確保が必要です。こういった場の確保には、本人及び家族、そして医療や福祉の専門職だけではなく、地域の方々の理解と関わりが必要になります。そこで、高齢者のみならず、認知症の人の生きることを支える、つながりのある地域の支援がこれまで以上に大切になっています。

今回の公開講座では、若年性認知症の理解や望まれる支援体制について、また認知症の方々を地域全体で支援する大牟田市での取り組みについて、第一線の方々からお話しをお聞きします。

熊本学園大学

熊本市中央4 地域包括支援センターやすらぎの森  
(認知症対応強化型)

くまもと青明病院  
(認知症疾患医療センター)

| お名前 | ご住所 | 電話番号 | 所属 |
|-----|-----|------|----|
|     |     |      |    |
|     |     |      |    |
|     |     |      |    |
|     |     |      |    |

TEL: 096-375-1412  
FAX: 096-363-3363  
E-mail: yasuraginomori@kyouninkai.jp